

新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート（令和4年4月1日更新）

- 団体代表者の方には、利用当日までに、下記の対応項目に基づいて、十分な安全対策を講じていただきますようお願いいたします。
 - ・対応項目の内容については、参加者のみなさま全員に周知をお願いいたします。
 - ・「利用者チェック」欄を活用しながら、取組状況を確認してください。※「利用者チェック」欄に☐を入れてください。
- 利用当日、当館でも取組状況を確認させていただきますので、この用紙を受付窓口へご提出ください。

No.	対応項目	利用者チェック
-----	------	---------

▶ 事前の準備について

1	感染症防止対策の実施に責任をもつ「対策実施責任者」を選任すること。	☐
2	具合の悪い方の参加は認めないことをあらかじめ参加者に周知すること。	☐
3	参加者全員の氏名・連絡先を把握すること。	☐
4	感染者が発生した場合、参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力すること。また、濃厚接触者となった場合、保健所からの要請（2週間を目安に自宅待機）に応じること。以上のことを参加者全員に周知すること。	☐
5	開催規模（人数）を縮小すること。 ※以下の場合は、貸室の定員の半分以上で利用してください。 ・大声での歓声、声援等が想定される場合（歌唱を伴う活動、管楽器の演奏なども含みます） ・クッキングルームで飲食を伴う活動をされる場合	☐

▶ 当日の対応について

1	参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認すること。	☐
2	具合の悪い方には、参加を認めないこと。	☐
3	過去2週間以内に発熱や風邪の症状で受診や服薬等をした方には、参加を認めないこと。	☐
4	上記1～3の対応を行った上で、発熱者や具合の悪い方が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触者等に対して、適切な感染予防対策を行うこと。	☐
5	頻繁な手洗いを呼びかけるとともに、会場入り口等に手指消毒液を設置すること。 ※手指消毒液は利用前に当館スタッフが設置します。	☐
6	マスクの着用や咳エチケットを周知徹底すること。※フェイスシールドやマウスシールドの単独使用は不可	☐
7	定期的に外気を取り入れる換気を実施する。 （1時間に2回以上、1回につき5分以上）	☐
8	人を密着させない環境を整備すること。 （人と人が手が届く範囲以上の距離を保つ、入退場に時間差を設けるなど）	☐
9	原則、食事は提供しないこと。（提供する場合は事前報告してください。）	☐
10	共有物の適正な管理又は消毒の徹底等を実施すること。	☐
11	参加者の中に感染者が発生した場合、保健所の指示に従い、調査に協力すること。	☐

● 大声での歓声、声援等が想定される場合（歌唱を伴う活動、管楽器の演奏なども含みます）は、以下の項目についても確認・チェックしてください。

12	大声または大人数での合唱行為は必要最低限とし、少人数に分けて行うこと。	☐
13	歌唱者同士、または歌唱者とそれ以外の者との前後左右の間隔をできるだけ2 m、最低1 m確保すること。	☐
14	参加者は、歌唱を行わないときはマスクを着用すること。 ※フェイスシールドやマウスシールドの単独使用は不可	☐
15	円陣になる等、お互い対面した歌唱は行わないこと。	☐
16	マイクを使用する場合はマイクスタンドを活用し、複数での使いまわしは避けること。	☐

● クッキングルームで飲食を伴う活動をされる場合は、以下の項目についても確認・チェックしてください

17	食事をする際は以下のことを実施すること。	
	対面で着席せず、利用者同士の間隔をできるだけ2 m、最低1 mを確保すること。	☐
	食事をする前に、手洗い・手指消毒の徹底をすること。	☐
	大皿での取り分け方式、ビュッフェ方式を控えること。	☐
	食事の会話ではできるだけ控えること。	☐

団体名： _____ 開催日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 参加人数： _____

利用内容： _____ 対策実施責任者： _____ 連絡先： _____

▶ 施設記入欄

確認者： _____

施設チェック

☐